

教育研究業績書

2017年05月29日

所属：建築学科

資格：講師

氏名：天島 秀秋

研究分野	研究内容のキーワード
建築計画・都市計画	囲繞空間、風水思想、都城、自然観、終末期古墳
学位	最終学歴
修士（工学）、学士（工学）	京都大学大学院 工学研究科 生活空間学専攻 修士課程 修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1. JABEE認定（建築学科 4年：エンジニアリング系学士課程）	2013年4月26日～	建築学科の学士課程(4年)のプログラムは、エンジニアリング系学士課程 建築学・建築工学及び関連のエンジニアリング分野においてJABEEの認定を受けた。2011年度からさかのぼって6年度間の認定。
2. JABEE認定（建築学科・建築学専攻 6年一貫：建築系学士修士課程）	2013年4月26日～	建築学科・建築学専攻の教育は、日本初の建築系 学士修士課程 6年間のJABEE認定により、UNESCO-UIA 建築教育憲章対応プログラムとして国際的に認められた。2011年度からさかのぼって6年度間の認定。
3. トルコ バフチェシヒル大学における海外実習	2011年9月～10月	2008年12月に締結したトルコ・バフチェシヒル大学との間の一般交流協定に基づき、2011年9月26日(月)から10月12日(水)の17日間、修士1年生7名の引率を行い、バフチェシヒル大学の企画の下で保存修復関連の実務訓練を行った。教員自身もスケッチをし、学生の手本となるようにした。毎日の実習の様子は、毎日ホームページの原稿を作成してリアルタイムで更新して公開した。
4. 小テストの実施および採点した小テストの返却	2011年4月～現在	「現代建築論」「建築設計計画Ⅲ」では、講義の冒頭に、前回の内容を踏まえた、論述形式の小テストを課している。前回の講義内容の定着をはかるとともに、学生の文章表現力の向上に寄与できている。毎回の小テストは、次の授業までに添削して返却し、理解が不十分であると思われるところは授業の冒頭で復習するようにしている。また、小テストを課している間に出席確認ができるので、授業時間の有効活用にもつながる。
5. 教員自身による設計案の検討と、スタジオにおける学生との設計行為の共有	2011年4月～現在	「建築設計演習Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ」「建築設計総合演習Ⅰ」においては、他の学生の案に対する対話だけでなく、教員自身でも案を検討し、エスキス、スケッチ等を各自の机に提示することにより、学生と教員がスタジオにおいて設計行為を共有できるようにしている。
6. 実物大の空間構築体験にもとづく建築設計の実施	2011年4月～現在	大学院の「建築設計総合演習Ⅰ」においては、与えられた材料から実物大のモノの組立て体験を行い、その体験をもとに建築の構造や工法を考え設計をおこなっている。
7. 学生の積極的参加を促す講評会の実践	2009年11月～現在	「建築設計演習Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ」「建築設計総合演習Ⅰ」の講評会では、教員や外部講師だけでなく、発表を聴いている学生も、発表者に質問や意見等を述べる機会を設けている。また全員の発表に対するコメントや意見を記入する用紙を配布し回収することにより、受講態度の向上をはかっている。
8. 演習における講評会の実施	2007年9月～現在	「建築設計演習Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ」「建築設計総合演習Ⅰ」では、各課題の最後に受講生全員が自分の作品について発表する講評会を行う。教員や学外からの講師による講評を受けることができ、理解を深めることができる。
9. 演習における作品の展示	2007年4月～現在	「建築設計演習Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ」「建築設計総合演習Ⅰ」では、各課題の受講生全員の作品を建築スタジオのギャラリーに展示し、学生の意欲を高めるとともに、一般の見学者や学内関係者に公開している。
10. 授業アンケートの実施による授業改善の工夫	2006年9月～現在	「現代建築論」「建築計画Ⅳ」「建築設計計画Ⅲ」「建築設計論Ⅰ」では、各回の授業の最後に自由記述式のアンケートを自主的にとることにより、学生の感想や意見を即座に吸い上げ、次回以降の授業に反映できるようにしている。
11. スライドを活用した授業	2006年4月～現在	「現代建築論」「建築設計計画Ⅲ」では、パワーポイントによるスライドを活用した授業を行っている。文字だけでなく写真や図などを使い、具体的に理解できるように工夫している。
12. 講義や演習と関連し、実践的な教育を可能にする学外実習	2006年4月～現在	「フィールドワークⅠA・ⅠB・ⅠIA・ⅠIB・ⅠIIA・ⅠIIB・ⅠⅣ・ⅠVA・ⅠVB」では、講義や演習の内容と関連づけて、現場に赴き実際に体験することで理解を深めることができる。
2 作成した教科書、教材		
1. 武庫川女子大学大学院建築学専攻 平成26年度修士1年前期「建築設計総合演習Ⅰ」	2014年6月～7月	課題3「膜屋根による半屋外遊戯場があるこども館」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。

教育上の能力に関する事項

事項	年月日	概要
2 作成した教科書、教材		
<p>2. 武庫川女子大学建築学科 平成26年度3年前期「建築設計計画Ⅲ」</p> <p>3. 武庫川女子大学建築学科 平成26年度4年前期「建築設計演習Ⅴ」</p> <p>4. 武庫川女子大学建築学科 平成26年度1年前期「現代建築論」</p> <p>5. 武庫川女子大学建築学科 平成26年度3年後期「建築設計演習Ⅳ」</p> <p>6. 武庫川女子大学大学院建築学専攻 平成25年度修士1年前期「建築設計総合演習Ⅰ」</p> <p>7. 武庫川女子大学建築学科 平成25年度3年前期「建築設計計画Ⅲ」</p> <p>8. 武庫川女子大学建築学科 平成25年度4年前期「建築設計演習Ⅴ」</p> <p>9. 武庫川女子大学建築学科 平成25年度1年前期「現代建築論」</p> <p>10. 武庫川女子大学建築学科 平成25年度3年後期「建築設計演習Ⅳ」</p> <p>11. 武庫川女子大学建築学科 平成24年度2年後期「建築設計演習Ⅱ」</p> <p>12. 武庫川女子大学建築学科 平成24年度3年前期「建築設計計画Ⅲ」</p> <p>13. 武庫川女子大学大学院建築学専攻 平成24年度修士1年前期「建築設計総合演習Ⅰ」</p> <p>14. 武庫川女子大学建築学科 平成24年度4年前期「建築設計演習Ⅴ」</p> <p>15. 武庫川女子大学建築学科 平成24年度1年前期「現代建築論」</p> <p>16. 武庫川女子大学建築学科 平成24年度3年後期「建築設計演習Ⅳ」</p> <p>17. 武庫川女子大学大学院建築学専攻 平成23年度修士1年前期「建築設計総合演習Ⅰ」</p> <p>18. 武庫川女子大学建築学科 平成23年度3年前期「建築設計計画Ⅲ」</p> <p>19. 武庫川女子大学大学院建築学専攻 平成23年度修士1年前期「建築設計総合演習Ⅰ」</p> <p>20. 武庫川女子大学建築学科 平成23年度1年前期「現代建築論」</p> <p>21. 武庫川女子大学建築学科 平成23年度4年前期「建築設計演習Ⅴ」</p> <p>22. 武庫川女子大学建築学科 平成22年度2年後期「建築設計演習Ⅱ」</p> <p>23. 武庫川女子大学建築学科 平成22年度4年前期「建築設計演習Ⅴ」</p> <p>24. 武庫川女子大学大学院建築学専攻 平成22年度修士1年前期「建築設計総合演習Ⅰ」</p> <p>25. 武庫川女子大学建築学科 平成22年度3年前期「建築設計計画Ⅳ」</p> <p>26. 武庫川女子大学建築学科 平成22年度1年前期「現代建築論」</p> <p>27. 武庫川女子大学建築学科 平成22年度3年後期「建築設計演習Ⅳ」</p> <p>28. 武庫川女子大学建築学科 平成22年度3年後期「建築設計演習Ⅳ」</p> <p>29. 武庫川女子大学建築学科 平成21年度3年前期「建築設計計画Ⅳ」</p>	<p>2014年6月～7月</p> <p>2014年4月～5月</p> <p>2014年4月～7月</p> <p>2014年10月～11月</p> <p>2013年6月～7月</p> <p>2013年6月～7月</p> <p>2013年4月～5月</p> <p>2013年4月～7月</p> <p>2013年10月～11月</p> <p>2012年9月～10月</p> <p>2012年7月</p> <p>2012年5月～6月</p> <p>2012年4月～5月</p> <p>2012年4月～7月</p> <p>2012年10月～11月</p> <p>2011年6月～7月</p> <p>2011年6月～7月</p> <p>2011年5月～6月</p> <p>2011年4月～7月</p> <p>2011年4月～5月</p> <p>2010年9月～10月</p> <p>2010年6月～7月</p> <p>2010年5月～6月</p> <p>2010年4月～5月</p> <p>2010年4月～7月</p> <p>2010年12月～2011年1月</p> <p>2010年10月～11月</p> <p>2009年4月～5月</p>	<p>地球環境問題と建築・都市、都市の将来像、公共交通と都市計画にかかわる講義スライド、配布資料を作成した。</p> <p>課題1「老いが教えてくれる生きた空間」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。</p> <p>甲子園会館と建築スタジオの建築的特徴、現代建築の3大巨匠、19世紀末から20世紀初めの建築の発展、モダニズムの反省と20世紀後半の展開に関する講義スライド、配布資料を作成した。</p> <p>課題2「隣と親しくなる中高層の集合住宅」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。</p> <p>課題3「膜屋根による半屋外遊戯場があるこども館」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。</p> <p>地球環境問題と建築・都市、都市の将来像、公共交通と都市計画にかかわる講義スライド、配布資料を作成した。</p> <p>課題1「老いが教えてくれる生きた空間」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。</p> <p>甲子園会館と建築スタジオの建築的特徴、現代建築の3大巨匠、19世紀末から20世紀初めの建築の発展、モダニズムの反省と20世紀後半の展開に関する講義スライド、配布資料を作成した。</p> <p>課題2「隣と親しくなる職住一体型中低層の集合住宅」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。</p> <p>課題1「祈りの空間」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。</p> <p>地球環境問題と建築・都市、都市の将来像、公共交通と都市計画にかかわる講義スライド、配布資料を作成した。</p> <p>課題2「地球環境に配慮した組バラシ自由な礼拝堂」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。</p> <p>課題1「老いが教えてくれる生きた空間」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。</p> <p>甲子園会館と建築スタジオの建築的特徴、現代建築の3大巨匠、19世紀末から20世紀初めの建築の発展、モダニズムの反省と20世紀後半の展開、建築の保存に関する講義スライド、配布資料を作成した。</p> <p>課題2「隣と親しくなる職住一体型中低層の集合住宅」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。</p> <p>課題3「膜屋根による半屋外遊戯場があるこども館」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。</p> <p>地球環境問題と建築・都市、都市の将来像、公共交通と都市計画にかかわる講義スライド、配布資料を作成した。</p> <p>課題2「地球環境に配慮した組立て型の礼拝堂」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。</p> <p>甲子園会館と建築スタジオの建築的特徴、現代建築の3大巨匠、19世紀末から20世紀初めの建築の発展、モダニズムの反省と20世紀後半の展開に関する講義スライド、配布資料を作成した。</p> <p>課題1「老いが教えてくれる生きた空間」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。</p> <p>課題1「祈りの空間」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。</p> <p>課題3「水辺の楽園」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。</p> <p>課題2「地球環境に配慮した組バラシ自由な礼拝堂」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。</p> <p>地球環境問題と建築・都市、都市の将来像、公共交通と都市計画にかかわる講義スライド、配布資料を作成した。</p> <p>甲子園会館と建築スタジオの建築的特徴、現代建築の3大巨匠、19世紀末から20世紀初めの建築の発展に関する講義スライド、配布資料を作成した。</p> <p>課題3「歩いて楽しい商業空間」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。</p> <p>課題2「隣と親しくなる職住一体型中低層の集合住宅」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。</p> <p>地球環境問題と建築・都市、都市の将来像、公共交通と都市計画にかかわる講義スライド、配布資料を作成した。</p>

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
2 作成した教科書、教材		
30. 武庫川女子大学建築学科 平成21年度4年前期「建築設計演習Ⅴ」	2009年4月～6月	課題1「老いと病が教えてくれる生きた空間」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。
31. 武庫川女子大学建築学科 平成21年度2年前期「CAD・CG演習Ⅲ」	2009年4月	CADを活用した図面の作成に関わる課題説明書およびマニュアルを作成した。
32. 武庫川女子大学建築学科 平成20年度2年後期「CAD・CG演習Ⅳ」	2008年9月～10月	質感豊かなパースの作成に関わる課題説明書およびマニュアルを作成した。
33. 武庫川女子大学建築学科 平成20年度2年後期「建築設計演習Ⅱ」	2008年9月～10月	課題1「祈りや癒しの空間」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。
34. 武庫川女子大学建築学科 平成20年度3年前期「建築計画Ⅳ」	2008年6月	地球環境問題と建築・都市、都市の将来像、公共交通と都市計画にかかわる講義スライド、配布資料を作成した。
35. 武庫川女子大学建築学科 平成20年度2年前期「CAD・CG演習Ⅲ」	2008年4月	CADを活用した図面の作成に関わる課題説明書およびマニュアルを作成した。
36. 武庫川女子大学建築学科 平成20年度1年前期「現代建築論」	2008年4月～7月	甲子園会館と建築スタジオの建築的特徴、現代建築の3大巨匠、19世紀末から20世紀初めの建築の発展に関する講義スライド、配布資料を作成した。
37. 武庫川女子大学 平成19年度共通教育科目後期「風水思想と都市景観」	2007年9月～2008年1月	風水思想の歴史、基本概念・風水思想の吉地、古代宮都計画と風水思想の関連、現代の都市景観問題に対する風水思想の意義にかかわる講義スライド、配布資料を作成した。
38. 武庫川女子大学建築学科 平成19年度2年後期「CAD・CG演習Ⅳ」	2007年9月～10月	質感豊かなパースの作成に関わる課題説明書を作成した。
39. 武庫川女子大学建築学科 平成19年度2年後期「建築設計演習Ⅱ」	2007年9月～10月	課題1「祈りや癒しの空間」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。
40. 武庫川女子大学建築学科 平成19年度1年前期「現代建築論」	2007年5月～7月	現代建築の3大巨匠に関する講義スライド、配布資料を作成した。
41. 武庫川女子大学建築学科 平成19年度2年前期「CAD・CG演習Ⅲ」	2007年4月	CADを活用した図面の作成に関わる課題説明書を作成した。
42. 武庫川女子大学 平成18年度共通教育科目後期「風水思想と都市景観」	2006年9月～1月	風水思想の歴史、基本概念・風水思想の吉地、古代宮都計画と風水思想の関連、現代の都市景観問題に対する風水思想の意義にかかわる講義スライド、配布資料を作成した。
43. 武庫川女子大学建築学科 平成18年度1年前期「現代建築論」	2006年4月～6月	現代建築の3大巨匠に関する講義スライド、配布資料を作成した。

3 実務の経験を有する者についての特記事項		

4 その他		
1. 西宮市立西宮東高等学校 進路セミナー 工学(建築分野) 「アートとしての建築学」	2014年10月1日	西宮市立西宮東高等学校1,2年生35名に対する進路セミナーとして、建築学について、建築系の学科に進学する上で必要な勉強、考えないといけないことを含めて以下の目次で講義を行った。(1)建築とは? (2)建築家の社会的役割と国家資格 (3)日本の建築教育と西欧の建築教育 (4)実務経験とプロフェッショナル・スクール (5)建築設計事例の紹介
2. 兵庫県立稲園高校模擬授業 「アートとしての建築学」	2008年9月22日	稲園高校1年生5名に対する職業別ガイダンスとして、前半はarchitectureの語源、建築設計における強・用・美・科学と芸術、技術と感性の両義性、建築家の社会的役割と国家資格、日本と欧米における資格制度の違いについて説明した。後半は実際に携わってきた建築設計や都市計画の例を紹介した。

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 一級建築士	2010年02月	一級建築士とは国土交通大臣の免許を受け、一級建築士の名称を用いて設計工事監理等の業務を行うものである(建築士法2条2項)
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 建築学科教員としてスタジオ家具およびパソコンなどのマルチメディア機器の整備計画を担当	2007年4月～現在	建築学科および建築学専攻の学生の入れ替わりにあわせて、スタジオ家具およびパソコンなどのマルチメディア機器、ギャラリー作品展示台などの整備計画を担当。
2. 武庫川学院施設部施設課専門員として新校舎建築スタジオの設計を担当	2006年4月～2007年3月	武庫川学院施設部施設課専門員を兼務し、岡崎甚幸教授の指導のもとで新校舎建築スタジオの設計および家具の設計・マルチメディア機器・実験室整備の計画などを担当。
3. 武庫川学院管理部管理課にて学内の教育・研究施設の設計を担当	2004年4月～2006年3月	武庫川学院管理部管理課にて、岡崎甚幸教授の指導のもとで学術研究交流館新築工事、武庫川女子大学附属中学・高等学校芸術館改修工事、同芸術館渡り廊下新築工事、第一体育館2階改修工事、甲子園会館改修工事の設計および家具の設計・マルチメディア機器の計画などを担当

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1. 京町家の環境技術と生活態度そして文化の形成	共	2012年1月	武庫川女子大学出版部	岡崎甚幸・大谷孝彦・鈴木利友・天島秀秋 編 「京町家の伝統的住環境は、実は省エネ技術の宝庫である。そしてその背後にある住まい手の生活態度やその文化は伝統的住環境技術を産出した源泉であった。」 地球環境と言う現代社会の重要なテーマを、京町家における伝統的住技術や住まい手の生活態度、それらによって形成された文化と言う視点から調査研究した成果をまとめた一冊。今こそ、次世代のエネルギーや環境問題を考える上で、京町家から多くのことを学ぶべきである。 (「財団法人 住宅総合研究財団」2010年度出版助成)
2 学位論文				
3 学術論文				
1. Enclosed Spaces of Ancient Japanese Cites and Watersheds: An analysis of Mountain Ranges and Water Systems of Kyoto, Nara, Dazaifu, and Kamakura Using a Three-dimensional Terrain Model	共	2013年3月	Institute of Turkish Culture Studies, Intercultural Understanding, Volume 3, pp.41-47	Hideaki Tembata, Shigeyuki Okazaki In this paper, we used a three-dimensional terrain model to study the relationships between the enclosed spaces of Kyoto, Nara, Dazaifu, and Kamakura and their watersheds. Most previous studies used two-dimensional maps and concluded that these four cities have similar enclosed spaces surrounded by mountains. However, in this study, we analyzed enclosed spaces through watersheds in a wide area using a three-dimensional terrain model and clarified the following points: 1) The Kyoto's basin area is about nine times as large as that of the Nara Basin. 2) Dazaifu's enclosed space is open to the southeast and the northwest, and its basin area is much smaller than Kyoto and cannot store water like the other three cities. 3) Kamakura's enclosed space is surrounded by mountains in three directions and can store water, but its basin area is the smallest among the four cities. 4) Kyoto has the largest basin area among the four cities.
2. Enclosed Spaces for Seoul and Kaesong based on Feng-Shui	共	2011年3月	Intercultural Understanding Vol.1	Hideaki Tembata, Shigeyuki Okazaki This paper studies the relationships between the landscapes of Seoul and Kaesong and their interpretations based on Feng-Shui. In this study we consider the visual relationships between actual landscapes and interpretations based on Feng-Shui using a three-dimensional terrain model. Both Seoul and Kaesong have visually enclosed spaces.
3. Enclosed Spaces for Seoul and Kyoto based on Feng-Shui	共	2011年10月	Archi-Cultural Translations through the Silkroad	Hideaki Tembata, Shigeyuki Okazaki We studied the relationships between the landscapes of Seoul and Kyoto and their interpretations based on Feng-Shui using a three-dimensional model. Both Seoul and Kyoto have enclosed spaces, but we confirmed different interpretations based on Feng-Shui. The shapes of Shu-zan and S? -zan behind Ketsu characterize Seoul's landscape. The Four Celestial Animals are all associated with mountains, because they are important in Seoul. Even though Kyoto is more enclosed by mountains than Seoul, the Four Celestial Animals are not associated with mountains, except for the Black Tortoise. In Kyoto, the concept of the Dragon Pulse is not seen, but its influence was conspicuous in Seoul. Perhaps the concept of the Dragon Pulse failed to spread to Japan because Japan is an island country that is not connected to China by land.
4. 接合部を含む座屈拘束ブレースの構面外座屈加重	共	2004年7月	日本建築学会構造系論文集 No.581	天島秀秋, 髙裕治, 井上一朗 This paper presents out-of-plane buckling load of buckling-restrained braces including its joints. There are two parameters which affect out-of-plane buckling load; (1) flexural stiffness

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
				of gusset-plate between the end of ribs at gusset-plate and surface of girder-flange, (2) position of beams for preventing lateral buckling of girder. Analytical model for researching out-of-plane buckling load is consisted of rotational springs which represent the former parameter, horizontal spring which represents the latter parameter, and three different flexural elements which represent buckling-restrained part and both joints. As a result, the warning of out-of-plane buckling to brace joints without either ribs reaching girder or beams for preventing lateral buckling is pointed out.
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
1. LANDSCAPE ANALYSIS OF TOMBS OF THE FINAL KOFUN PERIOD IN THE KAWACHI AREA USING A THREE-DIMENSIONAL MODEL	単	2016年7月16日	4th International Conference on Archi-Cultural Interactions through the Silk Road	Using a three-dimensional model, I analyzed the natural landscape views from 20 tombs of the Final Kofun period located in the Kawachi area to determine their characteristics and the relationship between landscape and each axial direction. I clarified the following: 1. Characteristics of 20 tombs were classified into the following four landscape types: 1) a distant panoramic view of the Kongo and/or Kii Mountains; 2) an intermediate view of the surrounding mountains and a divided distant view of the Kongo and/or Kii Mountains; 3) having an intermediate and/or short-distance view of the surrounding mountains and a partially distant view; and 4) a distant panoramic view of Osaka Bay.
2. 海触洞を望む拝殿	共	2016年08月26日	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集(九州)	野崎奈緒美, 岡崎甚幸, 鈴木利友, 天島秀秋 設計指導を担当。
3. 木造のゴシック建築	共	2016年08月26日	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集(九州)	磯上奈緒美, 岡崎甚幸, 鈴木利友, 天島秀秋 設計指導を担当。
4. Surrealism Architecture	共	2016年08月26日	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集(九州)	奥田まり, 岡崎甚幸, 鈴木利友, 天島秀秋 設計指導を担当。
5. つむぐグスク	共	2016年08月25日	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集(九州)	吉野友里恵, 岡崎甚幸, 鈴木利友, 天島秀秋 設計指導を担当。
6. 都市の森	共	2016年08月25日	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集(九州)	平嶋奈弥, 岡崎甚幸, 鈴木利友, 天島秀秋 設計指導を担当。
7. 装飾とカーテンウォールによる建築	共	2015年09月04日	日本建築学会大会学術講演梗概集 2015(建築デザイン), pp. 254-255	谷なつき, 岡崎甚幸, 鈴木利友, 天島秀秋 設計指導を担当。
8. 自然光を導き入れる展示空間	共	2015年09月04日	日本建築学会大会学術講演梗概集 2015(建築デザイン), pp. 234-235	今川泰江, 岡崎甚幸, 鈴木利友, 天島秀秋 設計指導を担当。
9. カテナリーの教会	共	2015年09月04日	日本建築学会大会学術講演梗概集 2015(建築デザイン), pp. 50-51	今治こみ加, 岡崎甚幸, 鈴木利友, 天島秀秋 設計指導を担当。
10. 海に浮かぶ集落	共	2015年09月04日	日本建築学会大会学術講演梗概集 2015(建築デザイン), pp. 130-131	羽間冬香, 岡崎甚幸, 鈴木利友, 天島秀秋 設計指導を担当。
11. 水の廻る町	共	2015年09月04日	日本建築学会大会学術講演梗概集 2015(建築デザイン), pp. 72-73	鈴木絢美, 岡崎甚幸, 鈴木利友, 天島秀秋 設計指導を担当。
12. 広重の浮世絵の風景画に見られる俯瞰景の投影法による分類	共	2014年9月14日	日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿) 2014年9月 pp. 547-548	本田くるみ, 岡崎甚幸, 鈴木利友, 天島秀秋 広重の浮世絵『名所江戸百景』119点のうち、俯瞰景が描かれた72点を対象とし、投影法に着目することにより以下4種類に分類し、それぞれの構図の特性を明らかにした。 ①軸測投影的俯瞰景：交互に繰り返される川や橋の先に遠景の富士がある。②斜投影的俯瞰景：水平線と左上がりの斜線と近景によって構成される。③立面の集合による俯瞰景：地平または水平線のある俯瞰景で、見るものに正対する各要素が手前から奥へ大きさを変えて配置される。④透視投影的俯瞰景：

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
13. コミュニティ衰退における社会的変遷及び生活環境的要因 —堺市東浅香山地域の実態調査—	共	2014年9月13日	日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿) 2014年9月 pp. 431-432	消失点が1つのもので構成される。 田中佑奈、岡崎甚幸、鈴木利友、天島秀秋 堺市東浅香山地域の7世帯を対象とした実態調査を行った結果、昭和30年～平成25年の間の、コミュニティ衰退における生活環境的要因と社会変遷の要因として、以下が明らかになった。 1. 生活環境的要因 ・昭和30年頃：①各住居の増改築、駐車場の所有→近隣と共有の路地の減少、居住空間の閉鎖化。②子どもの増加による私室(全軒平均2室)増加→その後の家族人数の現象による空き室化。 ・昭和30～55年：①各住居の風呂・テレビ・空調の普及とスーパーや大型商業施設の出没(昭和45年頃)→市場、店舗、銭湯の衰退および地域のライフラインや趣味、情報共有の場の減少。②昔から住む住人の減少(当時から半減)、若い世代や主婦の減少20代まで(73%→18%)による地域コミュニティの担い手の減少。 2. 社会的変遷の要因 ・昭和30～55年：人口増加、電化製品普及、第2,3次産業就業者増加、大学進学率上昇、女性労働力人口増加
14. 都市の洞窟	共	2014年09月	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集(近畿), pp. 278-279	村上友理子、岡崎甚幸、鈴木利友、天島秀秋 自然と共存できる現代の建物の新たな形態として「都市の洞窟」を提案した。敷地は周囲を四角い建物とアスファルトの道路に囲まれた、多くの自動車が行き交う都市の一角である。ただ大きな山を作るだけでなく、様々な要素を用いることで、場面を区切り、ヒューマンスケールに合わせた計画を行う。斜面の土は、芝や木の根で土止めを行う。人が訪れる南側は勾配をなだらかに、北側は石垣や壁面を用いることで隣接するビル群と調和させた。また商店街の通りの顔となる入り口部分にトンネルを用いた。西側には大きな塔を建てることで、大通りを自動車で行き交う人々の目にも留まるよう計画した。(設計指導担当)
15. 海上の楽園 —浮体式セミサブ型構造を用いたリゾートホテル—	共	2014年09月	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集(近畿), pp. 280-281	吉村裕子、岡崎甚幸、鈴木利友、天島秀秋 埋立てが不要な海洋建築として、リゾートホテルの設計を行った。設計にあたっては、海洋生態系に対する負荷の低減と、地震や津波、高潮などの災害に対する安全性の確保を重視して、構造形式に浮体式セミサブ型を採用した。本構造はリゾートホテルに限らず、他にもさまざまな用途の建築物、ひいては空港などの土木構造物にも応用できると考えられる。(設計指導担当)
16. 藤原京、平城京、平安京の圍繞空間の山並みと水系	共	2013年8月30日	2013年度 日本建築学会大会 学術講演梗概集	天島 秀秋、岡崎 甚幸 藤原京、平城京、平安京の圍繞空間を対象として、3次元地形モデルを用いた山並みと水系の分析により、以下が明らかになった。 ①藤原京、平城京、平安京の圍繞空間は、いずれも以下の異なる特徴をもっていた。藤原京は南側が高く北側が低く、北側の耳成山が独立した山で北西と北東は開けており、水を集めるために有効な地形ではない。平城京は南側に比べて北側が高いが、北側の奈良山の標高が低いために後ろ三方が囲われているとは言えず、水を集めるために有効な地形ではない。平安京は後ろ三方が高い山に囲われているため、南側に比べて北側が高く、南側に水を集めることのできる地形である。 ②畿内全域から見ると、平安京の圍繞空間である京都盆地は、藤原京、平城京の圍繞空間である奈良盆地に比べて、流れ込む水の流域面積が約9倍であり、また地下水賦存量も多かった。
17. クルアーンにみられるイスラームの自然観に関する研究	共	2013年08月	2013年度 日本建築学会大会 学術講演梗概集	山口 彩、櫻井 美里、天島 秀秋、岡崎 甚幸 イスラームの聖典であるクルアーンの記事に含まれる自然に関する11個の言葉(山、川、月、星、光、木、雨、水、火、天、地)に着目し、各言葉および、その言葉の用例を抽出した。次に、11個の言葉に関するクルアーンの記事を読み、各用例の分類し、神との関わり方について考察した。①クルアーンにおいての自然に関する言葉は、神がいかに超越的存在であるということを表し、その自然を通して人間は、神に対して尊敬や感謝、畏怖の念を抱いた。②神は自然を通して人間に救済や罰を与え、自らの行為の善悪を認識させた。③クルアーンにはギリシアの自然観のような自然、神、人間が統一体であるという概念はなかった。④中世キリスト教にみられる、人間が自然を支配し、物資として扱う、階層的分裂の概念もクルアーンには存在しない、ことを明らかにした。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
18. 新国会議事堂	共	2013年08月	2013年度 日本建築学会大会 学術講演梗概集(建築デザイン)	北岡 敦子、岡崎 甚幸、鈴木 利友、天島 秀秋 日本の伝統建築にみられる日本的空間の要素として、屋根、影、庇、軒、彫塑的構成、前面吹き放し柱列、絵画的構成、伽藍配置、小屋組み、組物、素材の違い、回遊式庭園の13の要素に着目し、日本の象徴的な存在としてふさわしいデザインの新しい国会議事堂を設計して提案した。設計指導を担当した。
19. 平城京の圍繞空間と風水思想	共	2012年9月	2012年度 日本建築学会大会 学術講演梗概集	天島 秀秋、岡崎 甚幸 3次元地形モデルを用いることにより、平城京の圍繞空間の風景と風水思想における解釈の関係を考察して以下のことを明らかにした。(1)第一次大極殿から南方を見た風景は三方が山に囲われているが、北側の奈良山は低い丘である。(2)朱雀大路の基準とされる越智岡丘陵の選定根拠が、風景の観点からは曖昧である。(3)十字軸の基準が周辺の山との関係から見出せない。(4)平城京は、四神相応であるとされるが、奈良盆地全体で見ると、南側が高く風水思想の理想的な圍繞空間の特徴と一致しない。
20. RELATIONSHIPS BETWEEN FENG-SHUI AND LANDSCAPES OF CHANGAN AND HEIJO-KYO	共	2012年7月	Archi-Cultural Translations through the Silk Road, 2nd International Conference, Mukogawa Women's University, Nishinomiya, Japan, July 14-16, 2012	Hideaki Tembata, Shigeyuki Okazaki We studied relationships between Feng-Shui and landscapes of Changan and Heijo-kyo. Changan does not accord with an ideal Feng-Shui model, while Heijo-kyo accords with an ideal Feng-Shui model partially. Neither Changan nor Heijo-kyo has big mountains on the north side, and there is no interpretation of the Dragon Pulse.
21. CEZANNEの表現手法を用いた空間設計		2012年09月	2012年度 日本建築学会大会 学術講演梗概集(建築デザイン)	伊勢 文音、天島 秀秋、鈴木 利友、岡崎 甚幸 1. セザンヌの絵画手法を、写実主義との比較によって考察した結果、写実主義が主観を排除し、現実をありのままに再現することを目指しているのに対し、セザンヌの絵画が知覚に基づく表現を重視し、鑑賞者がその絵画を個人のイメージに還元することを目的としていることを明らかにした。 2. アール・ローランの研究に基づきセザンヌの様々な表現手法を分類し、その体系を明らかにしている。その上で設計では、奥行き知覚として『構成要素の重なりによる3次元化』に着目したギャラリーの設計、知覚の恒常性として『形のデフォルマシオン』に着目した集合住宅の設計を提案した。
22. 子どもの発達と遊び空間	共	2012年09月	2012年度 日本建築学会大会 学術講演梗概集(建築デザイン)	西田祥子、岡崎甚幸、鈴木利友、天島秀秋 子どもの発達に応じた遊び空間を設計し提案した。遊び空間を設計するにあたり、かくれる、のぼる、すべる、ぶらさがる、くぐる、とぶ、やすむ、わたる、の8つの行為と、身体の各部の成長による遊び空間の変化を明らかにして、設計に応用できることを示した。設計指導を担当。
23. 泉南一丘団地における地域コミュニティの再構築による団地再生の提案	共	2011年08月	2011年度 日本建築学会大会 学術講演梗概集(建築デザイン)	小川真理子、岡崎甚幸、鈴木利友、天島秀秋 大阪府泉南市の泉南一丘団地を例に、高齢化社会に対応し、住民同士が地域社会を築いていける団地の再生手法、および環境的視点に立った、ストックを活用した再生計画の検討を行った。その結果、囲まれた住空間の形成、「集いの場」となるメインストリートの設置、高齢者向け住居の設置、共同施設の設置、区間内部に託児所や商店の設置、オープンスペースの活用を提案できた。設計指導を担当。
24. 感性による装飾	共	2011年08月	2011年度 日本建築学会大会 学術講演梗概集(建築デザイン)	松枝知花、岡崎甚幸、鈴木利友、天島秀秋 人間のスケールに合う小さな部材を積層することにより、『装飾により感性を刺激する結婚式場』を設計した。柱に付属するタイルにも300mmの基準寸法を用いることにより、柱の大きさに合うタイル装飾とした。取り外し可能なPCコンクリートを用いることにより、再利用可能で環境にも配慮した構造体となっている。システムを用いてブロックを積層させることにより、ブロックの集合体が建物の表情となって豊かな空間となる。設計指導を担当。
25. 京都の圍繞空間と風水思想	共	2011年08月	2011年度 日本建築学会大会 学術講演会	天島秀秋、岡崎甚幸 平安京の圍繞空間と四神相応説に着目し、京都の地勢図および旧大極殿跡からの京都盆地の風景を可視化することで既往研究における風水思想にもとづいた解釈と実際の風景との関係を考察した。その結果、(1)大極殿跡から見た風景は三方がなだらかな山に囲われ南が開けていること、(2)平安京の南北軸の基準となった船岡山は、京都の圍繞空間全体から見てその存在が特別に際だっているわけではないことなどを明らかにした。
26. クルアーンにみられる雨の記述と楽園の関係性について	共	2011年08月	2011年度 日本建築学会大会 学術講演梗概集	櫻井美里、天島秀秋、鈴木利友、岡崎甚幸 イスラーム教徒の自然観の根幹がクルアーンに基づいていると仮定し、文中に多用されている雨に関する

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
27. Enclosed Spaces for Seoul and Kyoto based on Feng-Shui	共	2011年03月	Archi-Cultural Translations through the Silk Road, International Conference, Bahcesehir University, Istanbul, Turkey, March 16-18, 2011	る記述をクラーンから抜き出した。そして雨がもたらす効果とイスラーム教庭園との関係を考察した。その結果、クラーンの文中にも多用されている雨は、乾燥地帯に広がったイスラーム教徒の生活や庭園と密接な関係にあること、神への信仰心へと繋がっていることが明らかになった。 Hidaeki Tembata, Shigeyuki Okazaki We studied relationships between Feng-Shui and landscapes of Changan and Heijo-kyo. Changan does not accord with an ideal Feng-Shui model, while Heijo-kyo accords with an ideal Feng-Shui model partially. Neither Changan nor Heijo-kyo has big mountains on the north side, and there is no interpretation of the Dragon Pulse.
28. 祇園祭における鉦の建築的特性について	共	2009年08月	2009年度 日本建築学会 学術講演梗概集	平野 麻衣子、大谷 孝彦、天島 秀秋、鈴木 利友、岡崎 甚幸
29. 稲荷山におけるお山詣りの空間シークエンス -稲荷山のお山詣りの信仰空間特性に関する研究 その3-	共	2008年09月	2008年度 日本建築学会大会 学術講演会(中国) E-2, pp. 769~770, 2008. 9	奥野千晴、岡崎甚幸、大谷孝彦、天島秀秋 稲荷山のお山詣りの参道空間を14区間に分け、各区间に対して、地形、鳥居、開閉、明暗の4つの項目および代表的な写真をまとめ整理した。その結果、お山詣りの参道空間は各区间ごとに地形の起伏、植生、鳥居によって空間感情の異なる参道空間シークエンスであり、その参道を巡ることによって期待感や畏怖感などの感情の起伏を生む効果があることが明らかになった。(共同研究につき本人担当部分抽出不可能)
30. 稲荷山におけるお山詣りの空間構造 -稲荷山のお山詣りの信仰空間特性に関する研究 その2-	共	2008年09月	2008年度 日本建築学会大会 学術講演会(中国) E-2, pp. 767~768, 2008. 9	大谷孝彦、岡崎甚幸、天島秀秋、奥野千晴 稲荷山の歴史的な経緯に着目し、京都盆地における稲荷山の地理的特徴を明らかにした。稲荷山は、古代は神奈備信仰にもとづく祭祀の場であった。稲荷山の空間は、(1)外界から隔離された尾根に囲われた領域を持つこと、(2)さらにそれが人間が信仰をしやすい小規模の空間であること、(3)三つの峰を持つ三つ組の構造で多様な場の意味づけに対応できることが明らかになった。(共同研究につき本人担当部分抽出不可能)
31. 京都盆地における稲荷山の地理的特性 -稲荷山のお山詣りの信仰空間特性に関する研究 その1-	共	2008年09月	2008年度 日本建築学会大会 学術講演会(中国) E-1, pp. 765-766, 2008. 9	天島秀秋、岡崎甚幸、大谷孝彦、奥野千晴 稲荷山の歴史的な経緯に着目し、京都盆地における稲荷山の地理的特徴を明らかにした。稲荷山は、古代は神奈備信仰にもとづく祭祀の場であった。稲荷山の空間は、(1)外界から隔離された尾根に囲われた領域を持つこと、(2)さらにそれが人間が信仰をしやすい小規模の空間であること、(3)三つの峰を持つ三つ組の構造で多様な場の意味づけに対応できることが明らかになった。(共同研究につき本人担当部分抽出不可能)
32. 京都とソウル -風水思想と歴史的都市の圍繞空間-	単	2004年10月	関西文化研究センター主催の第5回MKCRセミナー	2004年8月に日本建築学会大会で口頭発表したソウルの圍繞空間と風水思想の解釈の研究内容に加えて、その比較対象として京都をとりあげ、風水思想と歴史的都市の圍繞空間に関する考察を発表した。
33. ソウルの圍繞空間の視覚的特徴 -CG地形モデルを用いた風水空間の視覚的特徴に関する研究 その1-	共	2004年08月	2004年度 日本建築学会大会 学術講演梗概集(北海道) F-1, pp. 495~496, 2004. 8	天島秀秋、岡崎甚幸、柳沢和彦、鏡千恵子 ソウルの坐向論議の対象となった二つの案を視覚的な面から分析することにより、朝山から主山の眺めが坐向決定の要因になりうることを明らかにした。このこと、圍繞された空間の中だけではなく、その空間の外からも中を評価する風水思想の世界観が考察された。風水思想における「圍繞」は視覚的には連なった山として現れ、圍繞の空間と視覚的な山の連続性には深い関連があることが明らかになった。(共同研究につき本人担当部分抽出不可能)
34. 視覚的特徴から見たソウルの坐向論議 -CG地形モデルを用いた風水空間の視覚的特徴に関する研究 その2-	共	2004年08月	2004年度 日本建築学会大会 学術講演梗概集(北海道) F-1, pp. 497~498, 2004. 8	鏡千恵子、岡崎甚幸、柳沢和彦、天島秀秋 ソウルのCG地形モデルを用いることにより風水思想の圍繞の空間の視覚的特徴を考察する方法を示した。明堂内の一視点からのパノラマを分析することにより、周辺の山勢以外の視界に入る遠景の山も、視覚的に圍繞の空間を構成する要素として含まれることがわかった。また、ソウルの主山とされる北岳の形状が、他の山並に比較して際だった特徴を持っていることがわかった。重要建築である景福宮をより象徴的に印象づけるための主山の選定方法であることが考察された。(共同研究につき本人担当部分抽出不可能)
35. 集団の探索行動における会話の分類 -情報交換を伴う探索行動に関する研究 その5-	共	2003年09月	2003年度 日本建築学会大会 学術講演梗概集(東海) E-1, pp. 879~880, 2003. 9	鈴木利友、岡崎甚幸、天島秀秋 集団の探索行動実験において多くの被験者が交わす会話は、質問と回答、主語、場の記号、格、述語によって構成される限られた組み合わせに類型化できることを示した。またその使われ方は話し手の行動や状態と密接に関係しつつ変化することを明らかに

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
36. 集団の探索行動における会話の類型化 — 情報交換を伴う探索行動に関する研究 その6 —	共	2003年09月	2003年度 日本建築学会大会 学術講演梗概集(東海) E-1, pp. 881~882, 2003. 9	した。(共同研究につき本人担当部分抽出不可能) 鈴木利友, 岡崎甚幸, 天鳥秀秋 集団の探索行動実験で交わされる会話を、質問と回答、および主語や述語の種類に着目して分類した。また空間を言語化し、述語を具体化する言葉を場の記号と定義し、その種類を調査した。そして、話し手と聞き手の身体が同じ空間にいる状況では、互いの身体の位置関係に依存する表現が多く用いられることを明らかにした。(共同研究につき本人担当部分抽出不可能)
37. 接合部を含む座屈拘束ブレースの構面外座屈に関する研究 (その2 座屈荷重解析方法および解析結果)	共	2002年08月	2002年度 日本建築学会大会 学術講演梗概集(北陸) C-1構造III, pp. 565~566, 2002. 8	上村健二, 天鳥秀樹, 聲高裕治, 井上一朗 本論では、接合部を含む座屈拘束ブレースの構面外座屈荷重に対して接合部の詳細およびその周辺部材を考慮した解析モデル(その1)により、全体座屈荷重および接合部座屈荷重を求めた。その結果、接合部詳細によっては、構面外座屈の危険性があることが確認された。(共同研究につき本人担当部分抽出不可能)
38. 接合部を含む座屈拘束ブレースの構面外座屈に関する研究 (その1 接合部詳細を考慮した解析モデル)	共	2002年08月	2002年度 日本建築学会大会 学術講演梗概集(北陸) C-1構造III, pp. 563~564, 2002. 8	井上一朗, 聲高裕治, 上村健二, 天鳥秀秋 履歴型ダンパーとして使用される座屈拘束ブレースは、座屈拘束部と両端の接合部で構成される。現状の設計では、座屈拘束部の全体の座屈拘束条件に関して検定されているが、接合部の構面外座屈に対しては配慮していない。本論では、接合部の詳細やその周辺部材が座屈拘束ブレースの構面外座屈荷重に及ぼす影響を明らかにすることを目的として、接合部を含む座屈拘束ブレースの解析モデルを作成し、接合部詳細を考慮した境界条件および解析パラメータを整理した。(共同研究につき本人担当部分抽出不可能)
39. 接合部を含む座屈拘束ブレースの構面外座屈に関する研究	共	2002年06月	日本建築学会近畿支部研究報告集 構造系(42), 249-252, 2002-05-24	上村健二, 天鳥秀秋, 聲高裕治, 井上一朗 本論では、接合部を含む座屈拘束ブレースの構面外座屈荷重に対して接合部の詳細およびその周辺部材を考慮した解析モデルにより、全体座屈荷重および接合部座屈荷重を求めた。その結果、接合部詳細によっては、構面外座屈の危険性があることが確認された。(共同研究につき本人担当部分抽出不可能)
3. 総説				
4. 芸術(建築模型等含む)・スポーツ分野の業績				
1. [建築作品] ペトラ博物館 基本計画2014	共	2014年08月		岡崎 甚幸, 天鳥 秀秋, 伊勢 文音, 杉浦 徳利 ヨルダン王国の世界遺産であるペトラに建設する博物館の基本計画2014。ペトラ博物館のコンサルタント計画案の規模を踏襲し、コンサルタント案の問題点を解決する改善案として、案1: 展示室の床レベルが斜面に沿う案、案2: 展示室の床レベル統一案を設計した。全体の統括、案1、案2の図面の制作を担当。
2. [建築作品] ペトラ博物館 基本計画2013	共	2013年10月		岡崎 甚幸, 天鳥 秀秋, 本郷 佑奈, 山口 彩, 伊勢 文音, 杉浦 徳利, 猪股 圭佑, 森本 順子, 鈴木利友 ヨルダン王国の世界遺産であるペトラに建設する博物館の基本計画2013。博物館の環境評価に際して、前回構想された案を2300㎡に縮小し、同時にデザインをさらに検討し、前回の構想を継承する案(案1: 前回縮小案)と、それ以外のほかの3案(案2: 曲面壁2階案、案3: 平面壁平屋案、案4: 曲面壁平屋案)を設計し、それらの環境評価を行った。現地調査、CADと現地写真の合成による景観シミュレーションの統括、案1、案2の設計を担当。
3. [建築作品] ペトラ博物館 基本計画2012	共	2012年10月		岡崎 甚幸, 森本 順子, 山口 彩, 天鳥 秀秋, 鈴木利友 ヨルダン王国の世界遺産であるペトラに建設する博物館の基本計画2012。無機質な箱とするのではなく、ナバティア人の文化や、その後のローマ植民地都市時代の文化の香りを醸し出す場所となるように、荒々しい赤味の砂岩の肌、そこに切り込まれた墓の幾何学的造形、ローマの様式の柱や庇などにより構成。既存のビジターセンターに隣接する敷地に計画。CADによる外観透視図、内観透視図を担当。
4. [建築作品] 京都府総合資料館(仮称)設計工事 基本・実施業務に係る公募型設計 競技案	共	2011年06月		総合資料館と京都府立大学(文学部・図書館)の機能連携による新総合資料館の整備を行うことにより、文化・環境・学術の交流・発信拠点の整備を図ることを目的とした公募型設計競技に、武庫川女子大学建築・都市デザインスタジオとして応募した。(設計: 武庫川女子大学建築・都市デザインスタジオ、案の作成、中庭のCG透視図の作成を担当)
5. [建築作品] トルコ バフチェシヒ	共	2010年6月		トルコ バフチェシヒル大学の日本文化研究センター

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
ル大学 日本文化研究センター				
6. [建築作品]武庫川女子大学 建築スタジオ	共	2007年03月	新建築2007年11月号掲載(pp. 112-123, 220-221) 日経アーキテクチャ2007年11月26日号掲載(pp. 24-27)	イスタンブールのベジクタシュにある建物の1階部分を改修。設計に関連して、床柱・床框などの仕口・継ぎ手の図面制作を担当。 武庫川女子大学建築学科・大学院建築学専攻の新校舎。6学年分のスタジオを中心に、実験棟、教員の研究室などを計画。2007年3月竣工。武庫川学院施設部専門員として、設計監修、別途工事計画、家具計画などを担当。 平成19年度プレストレストコンクリート技術協会賞受賞 2007. 第50回BCS賞（建築業協会賞）受賞 2009. 建築雑誌 増刊 作品選集 2009 日本建築学会
7. [建築作品]武庫川女子大学 甲子園会館（改修）	共	2006年03月	近代建築 2006年8月号掲載 新建築 2007年11月号掲載	武庫川女子大学甲子園会館（旧甲子園ホテル）を武庫川女子大学建築学科・大学院建築学専攻の学舎として使用するために耐震改修。1年生のスタジオ、アトリエ、講義室などを計画した。2006年3月竣工。武庫川学院管理部（現施設部）において、改修設計監修、家具計画などを担当。 第17回BELCA賞 ロングライフ部門受賞
8. [建築作品]武庫川女子大学 第一体育館（改修）	共	2006年03月		武庫川女子大学 第一体育館の2階を改修。更衣室を拡張するために計画。2006年3月竣工。武庫川学院管理部（現施設部）にて、改修の基本設計、実施設計監修を担当。
9. [建築作品]武庫川女子大学 附属中学校・高等学校 芸術館連絡渡り廊下	共	2005年07月		武庫川女子大学 附属中学校・高等学校の既存の校舎と新たに改修した芸術館とを連絡する渡り廊下の計画。2005年7月竣工。武庫川学院管理部（現施設部）にて基本設計、実施設計監修を担当。
10. [建築作品]武庫川女子大学 学術研究交流館	共	2005年03月		武庫川学院の研究施設で「武庫川女子大学関西文化研究センター」および「子ども発達科学研究センター」の活動拠点として計画。2005年3月竣工。武庫川学院管理部（現施設部）にて、基本設計、実施設計監修、家具計画、サイン計画等を担当。
11. [建築作品]武庫川女子大学 附属中学校・高等学校 芸術館（改修）	共	2005年03月		元鳴尾競馬場の建物で、武庫川女子大学 附属中学校・高等学校で部室棟として使われていたものを芸術館として再生。2005年3月竣工。武庫川学院管理部（現施設部）にて、基本設計、実施設計監修を担当。 第19回BELCA賞 ロングライフ部門受賞
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1. Petra Museum Project 2013 in the Hashemite Kingdom of Jordan	共	2014年8月	Intercultural Understanding, Volume 4, 2014, pp. 79-99	Shigeyuki Okazaki, Hideaki Tembata Our project for the design of the Petra Museum aims to preserve, restore and exhibit the Petra World Heritage Site. We created four designs that consider specific views of the areas that surround the site. Using computer graphics, created composite images that depict the proposed appearance of the museum for each of the four designs against the selected background pictures. We expressed our views on the issues raised by UNESCO's landscape assessment criteria and proposed including elements of Japanese landscape composition, preserving existing trees, matching the design with the stone ruins, and referencing a form that symbolizes Petra's culture.
2. ヨルダン国ペトラ博物館建設に伴う初期遺跡影響評価	共	2014年3月22日	日本西アジア考古学会 第21回西アジア発掘調査報告会報告集、平成25年度 考古学が語る古代オリエント、pp. 130-134	山内 和也、岡崎 甚幸、岡田保良、濱崎 一志、天島 秀秋、原田 怜、大石 健介、大崎 光洋、アーデル・ズレイカト ヨルダン国ペトラ遺跡に隣接する博物館を建設するにあたり、博物館建設が与える景観や遺跡への影響について、環境影響評価を行った。本報告書における景観調査を担当した。現地の写真と4つの計画案の透視図を合成する景観シミュレーションを行い、ペトラにふさわしいデザインであれば、現在の景観がこれ以上悪くなることは考えられず、博物館が文化的なモニュメントとして活用できることを具体的に示した。
6. 研究費の取得状況				
1. 武庫川女子大学科学研究費補助金 ？ 学内奨励金	単	2015年04月～2016年03月	武庫川女子大学	
2. 武庫川女子大学科学研究費補助金 学内奨励金	単	2012年04月～2013年03月	武庫川女子大学	
学会及び社会における活動等				
年月日	事項			
1. 2014年01月～現在	地理情報システム学会			

学会及び社会における活動等

年月日	事項
2. 2013年9月07日～9月12日	ペトラ博物館建設にかかる環境影響評価のための景観調査
3. 2010年4月～2010年5月	夙川小学校校舎改築設計業務にかかるプロポーザル審査委員会
4. 2008年3月～2010年3月	日本建築学会 環境技術と建築・街並み・地域のあり方特別調査委員会委員
5. 2004年4月～2009年3月	武庫川女子大学関西文化研究センター
6. 2002年3月～現在	日本建築学会